



## コロナ禍でもがん検診は必要です！



がんは日本人の死亡原因の第1位です。しかし、早期発見・早期治療によって治るがんも増えてきています。早期のがんは症状がないことも多いため、コロナ禍でも定期的ながん検診を受けましょう。

### 令和4年度乳がん・子宮（頸部）がん医療機関検診のお知らせ

乳がん検診、子宮（頸部）がん検診は、行方市の助成を受けて、医療機関で受けることができます。

1. 申込期間 令和4年4月25日(月)～令和5年2月17日(金)
2. 受診可能期間 令和4年5月1日(日)～令和5年2月28日(火)
3. 検診項目

検診項目		対象者	個人負担金	内容等
乳がん	超音波検査	30歳～59歳	2,000円	
	乳房X線検査 (マンモグラフィ)	40歳以上	2,000円	2年に1回
子宮（頸部）がん		20歳以上	2,000円	子宮頸部の細胞診

4. 受診の流れ
  - ① 行方市保健センターに電話または市公式ホームページから申し込む。
  - ② 自宅に受診券が郵送される。
  - ③ 同封の指定医療機関一覧から希望する病院を選び、予約・受診する。
5. 注意
  - ・ 通院治療中、経過観察中の方は、主治医にご相談ください。
  - ・ 自覚症状がある方は、検診ではなく医療機関を受診し、必ず医師の診察を受けてください。

《行方市では、下表のがん検診を実施しています》

検診種別	対象年齢	内容等	
結核・肺がん検診	19歳以上	胸部X線検査	
胃がん検診	40歳～74歳	バリウム検査	
大腸がん検診	40歳以上	便潜血検査	
前立腺がん検診(男性のみ)	50歳～74歳	血液検査(PSA値測定)	
乳がん検診(女性のみ)	超音波検査	30歳～59歳	乳房に超音波を当てる検査
	乳房X線検査 (マンモグラフィ)	40歳以上	乳房のX線検査 2年に1回
子宮頸がん検診(女性のみ)	20歳以上	子宮頸部の細胞診	

今後も市報や市ホームページ、メールマガジン、市公式LINE等で、  
検診のお知らせをします。